

旧広島陸軍被服支廠に係る第4回懇談会の開催状況等について

1 要旨・目的

旧広島陸軍被服支廠の活用について、令和4年度末までに、実現可能性のあるアイデアを「活用の方向性」として、複数案取りまとめるため、「第4回旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会」（以下「第4回懇談会」という。）を開催したので、その内容について報告するとともに、「第4回旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ」（以下「第4回ワークショップ」という。）を開催する。

2 現状・背景

建物の安全対策を早急に進める必要があることから、耐震性を確保しつつ、内部見学などの利用が可能となる安全対策と最小限の利活用を同時に実現させるために、建物3棟の安全対策の実施設計業務に着手している。

併せて、重要文化財の指定に向けて、建築物の価値調査に着手している。

また、重要文化財の指定を見据え、指定後に必要となる建物の管理・活用の方向性等を定める保存活用計画の検討を進めるため、有識者等で構成する懇談会を設置・開催し、活用の方向性の取りまとめに着手している。

3 概要

(1) 第4回懇談会の開催状況について

ア 実施主体

県

イ 日時

令和4年7月24日（日）15時00分～

ウ 場所

県庁本館 R3会議室

エ 出席委員

コア委員全8名、分野別委員2名出席

オ 実施内容

議題1：分野別委員による活用アイデアの提供

活用の方向性の取りまとめに向け、懇談会での検討・議論の参考とするため、分野別委員から分野に応じた被服支廠の活用アイデアなどの提供を受けて、意見交換を行った。

内 容	所 属・氏 名
<p>(1) 旧広島陸軍被服支廠 活用の方向性を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際会議などが開催できる多目的イベント施設としての活用 ○ 親しみやすい愛称の必要性 	<p>株式会社マリモレコース 代表取締役 江夏 正晃</p>
<p>(2) コミュニティを育むeスポーツ活用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ eスポーツと「何か」を組み合わせることの必要性 ○ 地域の学生や若者がeスポーツを通じて、集うことのできる場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・VR, ARの体験やデジタルアートの活用など 	<p>一般社団法人地域Eスポーツ 教育推進協会 代表理事 山崎 譲史</p>

議題2：活用に向けた基本的な考え方・具体的なアイデアについて

- ① これまでの懇談会やワークショップでの意見交換を踏まえ、事務局において整理した活用の可能性等をたたき台として、意見交換を行った。

活用の可能性	導入機能・施設
<p>県民が日常的に集う</p> <p>日常的に憩い、集える空間として使うことができる</p>	平和等をテーマに小さいときから足を運べるような <u>図書館</u> 、 <u>子供図書館</u>
	気軽に子どもが集まって勉強を教えてもらえる、寝泊り付き空間をもつ <u>自習室</u>
	多世代が集まることのできる安心・安全な <u>子育て支援施設</u>
	近隣住民が自発的に使い、交流できる <u>スモールオフィス</u> や <u>サテライトオフィス</u>
	被服支廠を知るきっかけや、愛着を育む場となる <u>遊び場・イベント会場</u>
	流行の先端をいく <u>eスポーツ</u> 、 <u>アーバンスポーツ施設</u>
	地域の出会いの場や対話の場となる <u>多目的ルーム・カフェ等</u>
<p>県民と来訪者が交流する</p> <p>県民・来訪者ともに気軽に立ち寄り、交流することができる</p>	近隣住民も来訪者も立ち寄りやすい <u>マルシェ</u>
	広島観光の拠点となる <u>観光センター</u>
	建物の周囲を活用した <u>公園や広場空間</u>

活用の可能性	導入機能・施設
<p>平和・広島歴史等について学び、発信する</p> <p>平和、広島歴史・自然、被服支廠の建築的価値等を学び、継承し、世界に伝えることができる</p>	<p>平和や歴史等に興味を持てるような<u>資料館・博物館</u></p> <p>平和や戦争、核兵器に対する多様な視点を学べる<u>文学館</u>や絵画等の<u>ギャラリー</u></p> <p>被服支廠が持つストーリーから平和や継承を考えることができる<u>ピースツーリズムの拠点</u></p>
<p>次世代につながる様々な学びを提供する</p> <p>多様な世代が交流しながら学び、活動の拠点として使うことができる</p>	<p>建築物としての価値や魅力に触れながら、建築を学ぶことができる<u>サテライトキャンパス</u></p> <p>若い世代が歴史に触れながら活動できる<u>教育活動・ボランティアの拠点</u></p> <p>子どもを中心に多様な世代が<u>遊び、体験しながら学ぶことができる施設</u></p> <p>子どもや若い世代の創造力を高め、未来に向けた学びや創造の拠点となる<u>学習・研究施設</u></p>
<p>創造の場を提供する</p> <p>多様な価値観で創作・表現活動、発表ができる</p>	<p>デザイナーやアーティスト、それを目指す地元の人々の活動の場となり、活躍を後押しする<u>アトリエ・工房</u></p> <p>被服支廠の建物の歴史や空間を活かした<u>アート作品の展示施設</u></p> <p>歴史を未来へと繋ぐ<u>AI・IT産業の拠点</u></p> <p>被服を扱っていた歴史を伝承し、未来につなげる<u>ファッション博物館</u></p> <p>大空間や広島にしかない歴史・価値を活かした<u>ホール・劇場</u></p>
<p>世界とつながる</p> <p>国内外の人々が被服支廠の建物を通じて平和の大切さを感じることができる</p>	<p>国内外からの来訪者が宿泊し、県民と交流できる<u>合宿所やユースホステル</u></p> <p>被服支廠が持つストーリーを活かし、国際平和をテーマとした会議などが開催できる<u>イベント・コンベンション施設</u></p>
<p>広島・被服支廠でしかできない体験を提供する</p> <p>広島（被服支廠）にしかない空間等を活かした、ここでしかできない体験を県民や来訪者に提供している</p>	<p>広島歴史や被服支廠の空間を活かした<u>イベント</u></p> <p>広島歴史・文化等に触れられる<u>体験施設</u></p> <p>被服支廠以外の遺産も併せ、当時や平和に思いを巡らせる<u>パッケージツアー</u></p> <p>まちの活性化を促す<u>地域や商店街との連携した取組</u></p>

② 意見交換を行った結果、各委員からの主な意見は次のとおりであった。

主な意見
<ul style="list-style-type: none">・活用の方向性の分野の数が多く判りにくいため、分野を統合するなど、数を減らしてはどうか。・広大な空間を有する建物群であり、活用の用途は、単一用途ではなく、様々な用途が複合した活用になるのではないか。・今後の整理に当たっては、分野ごとに運営管理方法なども一緒に検討する必要があるのではないか。・時代の変化が早いので、時代に合わせて、活用用途も変更できるよう、建物の大きな改変を行わない活用も検討すべきではないか。・県民が関わりながら活用していく必要があることから、県民が知らなかったとならないよう、懇談会やワークショップの意見交換の内容等については、積極的に情報提供していく必要があるのではないか。

(2) 第4回ワークショップの開催について

ア 実施主体：県

イ 日時：令和4年8月27日（土）13時00分～

ウ 場所：県庁自治会館 101会議室

エ 実施内容（予定）

第4回懇談会の意見やこれまでのワークショップで意見交換した活用の具体的なアイデアなどを基に、活用し続けるために必要とされる考え方や条件などについて、ワークショップメンバーによる意見交換を行う。

(3) 活用の方向性の取りまとめに向けた今後の議論の進め方について

懇談会において、被服支廠の活用を進めるための基本的な方針を整理した上で、ワークショップや大規模ワークショップでの活用のアイデアなどを参考にして、活用の方向性の取りまとめに向けた議論・検討を進める。

4 予算（単県）

旧広島陸軍被服支廠安全対策等事業（事業期間：R3・R4）（単位：千円）

区分	令和3年度 （最終予算）	令和4年度 （当初予算）	計（令和3・4）
安全対策に係る実施設計	30,888	82,309	113,197
重要文化財指定に向けた建築物の価値調査	18,766	19,954	38,720
活用の方向性のとりまとめ	9,526	12,000	21,526
計	59,180	114,263	173,443

5 その他（関連情報等）

[旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会 | 広島県 \(hiroshima.lg.jp\)](https://www.hiroshima.lg.jp)

[旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ | 広島県 \(hiroshima.lg.jp\)](https://www.hiroshima.lg.jp)

[旧広島陸軍被服支廠 安全対策・価値調査等検討会議 | 広島県 \(hiroshima.lg.jp\)](https://www.hiroshima.lg.jp)

【参考1】被服支廠に係る検討の進め方について

区分	安全対策・重要文化財指定	活用の方向性検討	
		懇談会	ワークショップ
令和3年度	<p>第1回検討会議(2/7) ・安全対策に係る実施設計及び重要文化財指定に向けた建築物の価値調査の取組状況の確認</p>	<p>第1回懇談会(11/10) ・検討プロセス</p>	<p>第1回ワークショップ(1/30) ・被服支廠に係る情報提供</p> <p>第2回ワークショップ(3/13) ・キーパーソンヒアリング ・活用に当たって必要な視点</p>
		<p>第2回懇談会(1/26) ・被服支廠に係る情報提供</p> <p>第3回懇談会(3/22) ・活用アイデアの提供 ・検討ポイントや基本的な方針</p>	
令和4年度	<p>第2回検討会議(10月予定) ・安全対策に係る実施設計及び建築物の価値調査の中間報告</p> <p>第3回検討会議(3月予定) ・安全対策に係る実施設計及び建築物の価値調査の結果取りまとめ</p>	<p>第4回懇談会(7/24) ・活用テーマや活用アイデアの意見交換</p>	<p>大規模ワークショップ(4/17) ・活用のアイデアの意見交換</p> <p>第3回ワークショップ(6/11) ・活用のアイデアの意見交換</p> <p>第4回ワークショップ(8/27) ・活用するために必要なことについて意見交換</p>
		<p>懇談会とワークショップの意見交換会(10月予定)</p>	<p>第5回懇談会(11月予定) ・活用方法の精査等</p>
		<p>第6回懇談会(3月予定) ・評価、取りまとめ</p>	